

公開研究会「シリーズ小中一貫校の建築計画③ 教育学・学校現場からみた期待と課題」

CPD 申請中

近年、小中学校の義務教育課程の連続性や連携を意図する「小中一貫校」に取り組む自治体が増加しており、実現例も増えている。しかし、建築計画的側面からの研究蓄積は極めて限られており、計画理念や手法の開発は未だ試行錯誤・模索の段階にあると考えられる。また、自治体によって一貫校設置の背景や目的が様々であり、そうした事情が建築計画にも影響を及ぼしている。

本公開研究会では、小中一貫校の整備に様々な立場に関わる方々からの問題提起と参加者との議論を通して、小中一貫校の施設整備における諸課題を検討しつつ、今後の展望について理解を深めたい。3回シリーズでの開催を予定している。初回は、研究者、設計者からの実践からみた課題提起をもとに議論を進めた。2回目では、小中一貫教育のあり方、地域との関わり視点から、施設設置に携わっている教育委員会の方々から自治体の取り組みと期待・課題について講演をいただき、議論を行った。

最後となる今回は、教育学と現場における学校経営の視点から小中一貫校の運営の実態と期待・課題について講演をいただき、これまでの議論とあわせ、施設計画に関する今後の課題を共有したい。

主催 建築計画委員会 施設計画運営委員会 教育施設小委員会

日時 7月24日(火) 18:00~20:30

会場 建築会館3階会議室

内容 ◆主旨説明：伊藤俊介（東京電機大学／小委員会主査）

◆講演

1. 教育学の観点からみた小中一貫校
： 天笠 茂（千葉大学）
2. 小中一貫校の現場からみた学校施設と運営について（1）
： 緒方将隆（箕面市立東小学校、前・箕面市立とどろみの森学園）
3. 小中一貫校の現場からみた学校施設と運営について（2）
： 渡辺直樹（川崎市総合教育センター、元・川崎市立はるひ野中学）

◆討論 司会：八木真爾（佐藤総合計画）

◆まとめ：横山俊祐（大阪市立大学）

定員 100名（申込み 先着順）

参加費 会員 2,000円 会員外 3,000円 学生 500円（資料代含む）

申込方法：催し物名称、氏名、勤務先・所属、電話番号、E-mailアドレスを明記のうえE-mailでお申し込み下さい。（定員に達した場合のみお断りの方にご連絡いたします）

申込み・問合せ：東京電機大学 伊藤俊介

E-Mail; E-mail: itoh@sie.dendai.ac.jp

